

★森のおはなし探検隊★

2月のテーマは『到津の森の野鳥観察』

到津の森にやって来る野鳥のガイド付き観察会を行います。
子どもから大人まで、多くの方の参加をお待ちしています。

開催日時：2月17日(日) 10:00~12:00

(終了時間は状況により変更することがあります。)

集合場所：姿見の池 前

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

☆ゆめある動物園プロジェクト☆

～作って、知って、観察しよう！カンムリヅル～

鳥の形のたこを作り、鳥の体の仕組みを学びます。
最後にたこを飛ばし、カンムリヅルを飼育スタッフと観察します。

開催日時：2月17日(日) 13:30~15:00

開催場所：里のいきもの館レクチャールーム

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

定員：先着20名程度

※事前申込が必要 2月3日より電話にて先着順に受付

平成15年3月から毎月発行している「森のお便り」も、今月で10周年を迎え通巻120号になりました。毎月原稿を書いている花咲くおばさん・飼育員さん、イベント情報を教えてくれるボランティア・公園職員の皆さんありがとうございます(松)

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 2月号 2013年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」13年2月1日発行 通巻120号

キリンの「望」が引っ越します！

一昨年に当園で誕生したアミメキリンの「望(のぞむ)」が、このたび引っ越すことになりました。
親子3頭でキリンを見ることができるのも、あと少しの間です。「にぎやかなサバンナが見たい！」という方は、ぜひお早めにご来園下さい！

「望(のぞむ)♂」：到津の森公園生まれ

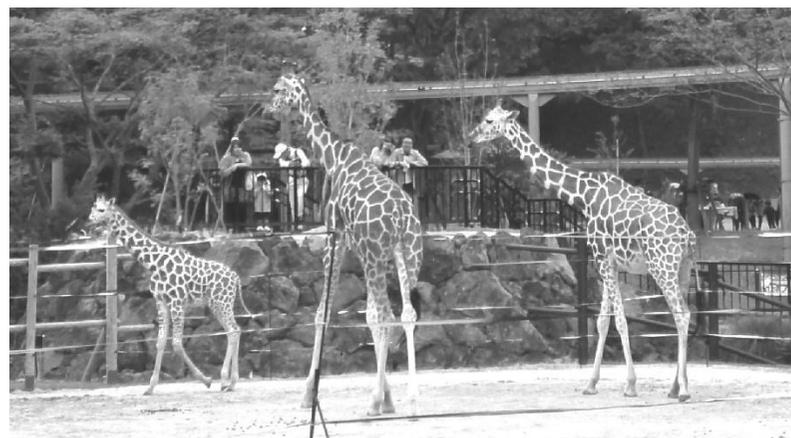
1歳4か月 2011年9月23日生

母親：「マリア」名古屋市東山動物園生まれ
9歳 2004年9月来園

父親：「トーマ」姫路セントラルパーク生まれ
5歳 2010年1月来園

引越先：姫路セントラルパーク(兵庫県)

※実際の引っ越しは2月~3月を予定していますが、2月上旬ごろからは引っ越しに向けた訓練を始めるため、見ることができなくなります。
都合により、引っ越しが早まり、見ることができなくなる時期が早まる可能性がありますので、ご了承ください。



暦の上では二月如月(キサラギ)は春。4日はもう立春とか。体感としてはこれからが冬本番と思えますが。そういえば日が長くなってゆくの、朝晩はつきり感じられ、裸木の枝先の芽もぷっくり豊かになっています。

「人影ちらほらとあたたかく獅子も虎も眠っている」

2月の到津遊園(当時)を訪れた山頭火の一句です。

今にもかげろうが立つような暖かい空気に包まれていたのしょうね。観覧車から少し下った東屋の側に立てられた句碑から芝生広場方面へ下る途中、緑濃い常緑樹が現われます。

そう、クロキ(ハイノキ科)です。市内ではごくありふれた小高木で、乾燥や潮風、日光不足にも耐えるなかなかいじらしい性格ですが、この到津のクロキは斜面が開けているおかげで、十分日光を受けてガッチリした頼もしい樹形で、元気いっぱい。茂った葉の付け根にはもう、白い小花が開き始めています。

そういえば、ミモザ(ギンヨウアカシア)のびっしり詰まったつぼみは、今にも開きそうに色づいて、園内を黄色の海のように埋め尽くすのも間近でしょう。

早春の花は晩秋の寒に合うと開花の準備に入ると言われていますが、そういえば、去年は秋からずっと寒い日が続いていますねえ。連日低温でも春の花は早く咲きそうです。

斜面を降りつくせば、梅・水仙など早春の花々がお迎え。ここから園内を南ゲートまで散策してみましょう。ジンチョウゲやサンシュユ・ヒサカキ・コブシ・セイヨウシャクナゲ・ヤマモモ・ネコヤナギ・オウバイ等たくさんのお花が今や遅しと、開花を急いでいます。また隅々の日だまりに目を凝らして見てゆくと、ホトケノザ・スマレ・オオイヌノフグリ・ハコベ等の野草たちがちゃっかり一足先に小花を開花しているのです。

寒いことは本当に寒い。でも木の芽や野草たちに負けてはいられない。やせ我慢こそが「おしゃれ」の真骨頂です。春色のマフラーを巻いてさあ、到津の森公園ミモザフェアにあの人と出かけましょう。

文：花咲くおばさん

花暦 如月

森の仲間たち・ロバ

到津の森公園には、4頭のロバがいます。

「お名前は?」「何歳ですか?」「何を食べるの?」お客様から色々なことを聞かれます。「赤ちゃんがいるの?」なんて聞かれることもしばしば。実は、ロバはもともとお腹が大きいので、よく妊婦さんに間違えられてしまうのです。ですから、いつもでしたら「いいえ、赤ちゃんはいませんよ。」とお返事していましたが・・・。

最近、コミミのお腹が特に大きくなっていることに気がきましたか?そうです、コミミのお腹には、本当に赤ちゃんがいるのです!去年の5月末にスギが亡くなりましたが、その前に、コミミのお腹に『コスギ』を残してくれていました。出産は2月末頃を予定しており、コミミは乗馬のお仕事も産休を取り、出産に向けて準備万端です。

コミミの出産は3回目。ミミとスモモを出産した時も、とっても面倒見の良いお母さんでしたから、きっと今回も上手に『コスギ』を育ててくれることでしょう。私たちも出来るだけ手助けして、コミミの子育てを応援したいと思います。

産まれてからしばらくの間は、親子が落ち着けるように日中も寝室で過ごしますが、予定通り順調に成長すれば春頃には運動場で『コスギ』に会えると思います。皆さんお楽しみに!

※写真は、夏毛でスッキリのコミミ。
現在は冬毛でモコモコしています。
大きなお腹も見に来てね!



飼育展示係 鹿子嶋 有希